



廻りのルーフスケープ 賑わいが連なり溢れ出す交流拠点施設

美しい清流と豊かな自然に囲まれ、農地が広がる相良村は、日本の原風景が残されています。このどこか懐かしさを感じさせる風景を体験し、未来へつなげていくための場所として、風景に呼応し山々が連なるようなひとつながりの屋根（ルーフ）と、周辺の雄大な自然と調和を図りつつ新しい居場所をつくるランドスケープを提案します。廻りのルーフスケープが相良村の過去と未来をつなぐ場所となります。

多方向に広がるように配置されたひとつながりの屋根が、相良村の新しいシンボル空間となります。

■村民や来村者の記憶に残る、シンボルとしてのルーフスケープ (村民が地域のシンボルとして誇れる建物について)

- ・かんのん橋を渡るとき、山並みに呼応した屋根並みと周りの自然に調和したランドスケープが迎えてくれます。
- ・相良村の風景に溶け込みつつそれらを未来へつなぎ伝えていくことを期待させるシンボリックな建築は、利用者の記憶に残り何度でも訪れたい場所となります。



かんのん橋方向からの眺望

■ふらっと立ち寄れて、多様な賑わいが生まれる場所 (相良村廻り地区の村民が日頃から気軽に使える身近な施設について)

- ・村外の利用者だけでなく村民も日常的に訪れたい場所をつくりたい。夏のシーズン以外でも賑わいのある施設を目指します。
- ・村民の活動が日常的な賑わいを生み出し、村外からの利用者を引き付ける原動力となります。村の内外にわたる賑わいの循環が生まれます。



多目的スペースから川を眺めながらのお茶会

■村の財産【コト・モノ・ヒト】でつながる交流施設 (交流人口を増やす施設について)

- ・恒例行事のサガラッパ祭、食や農の文化を楽しむマルシェ、文化財や自然の探索など、相良村が古くから大切にしてきた【コト・モノ・ヒト】の体験を通して村の内外とのつながりを育みます。



相良村の食文化を発信する屋外マルシェ

■敷地の活かした広く長く連なる配置計画 (地域活性化につながる配置計画について)

- ・バス停や将来の拡張範囲も含めて、全ての機能を一広く長くリニアに配置することで、周辺の豊かな自然環境との接点を最大限確保します。一箇所集中型の配置では得られない敷地のポテンシャルを最大限発揮できる配置計画です。



■広域の環境に呼応し、風景を取り込む (相良村の魅力を活かした外構計画について)

- ・敷地近辺だけでなく広域の周辺環境を取り込むように建物の配置や方向を決定します。目の前の川辺川や川沿いの田園風景、谷間を抜ける眺望など、遠近多方向の魅力的な風景を体験することが可能です。
- ・広域環境に配慮した空間とすることで、川辺川に寄り添いながら栄えた相良村ならではのあたらし空間体験をつくりたい。



炊事場外周の腰掛けスペース



道路側に開放した軒下テラス



多目的広場でのアースナイト



敷地を中心に多方向に広がる自然を捉えます。

■周辺のコンテクストを取り入れた素材選定 (相良村の魅力を活かした外構計画について) (メンテナンス性・耐候性について)

- ・川辺川周辺の様々な要素を取り入れることで、周辺に馴染みつつ、周りの風景を引き立たせるような素材を選定します。
- ・法面や段差には川沿いに点在する石積み仕上げに倣うことで、川沿いの環境に溶け込む計画とします。
- ・コンクリート床表面は川砂利を骨材とした洗い出し仕上げとして建物から川辺までの舗装を馴染ませます。



現地の護岸や川砂利のなどと馴染む素材選定



芝生広場と斜面広場をつなぐ大階段は、川に向かって腰を掛けられる憩いの空間でもあります。



西側前面道路に対して、ベンチを設えたり駐輪スペースを隣接させることで、地元住民が気軽に立ち寄れる佇まいをつくりたい。

■民意に開かれたシンプルでフレキシブルな空間構成

(地域交流や維持・継続性を考慮した平面計画について)
(ユニバーサルデザインについて)

- ・半屋外空間である回廊と、大小様々な諸室が向きを変えながら隣接したひとつながりの平面構成です。
- ・様々な民意を反映し易いシンプルな構成であるため、配置や大きさの調整が容易でフレキシブルな計画とします。ワークショップにより各スペースの使い方や施設全体の将来の姿を共に考えて、設計を進めます。
- ・中心の広場は、建物に囲まれつつも周りの屋外空間と緩やかにつながります。屋内外の活動が漏れ出して多様な使い方が展開される、賑わいの中心となる場所です。
- ・道路側に建物を寄せて開いた設えとすることで、気軽に立ち寄れる佇まいを作ります。道路側からも施設内での活動が覗けることで、施設の賑わいが村全体に伝わっていきます。
- ・施設全体のスロープは15%以下の勾配でめぐることができるルートを確認し、車椅子利用者やお年寄りでも楽しめるように配慮しています。

■賑わいが連なるひとつながりの屋根

(地域交流を考慮した平面計画)

- ・ひとつながりの屋根の下は、屋内外が一体であり、屋根の向や使い方、大きさが異なりバリエーション豊かな場所となります。それぞれの小さな賑わいが屋根に寄って連なり、施設全体での大きな賑わいを生み出します。



多方向に広がるひとつながりの屋根

炊事場や倉庫の外周には腰掛けスペースを設け、川やキャンプ広場を眺めながら食事を楽しむことが可能です。

多目的スペースの周りは、ウッドデッキの床や深い軒下空間が隣接しており、多様な利用形態に対応可能な設えとします。

多目的の広場は土系舗装で仕上げます。日常的には芝生広場や多目的広場の延長のような扱いとして、利用者が多い場合は駐車場として利用する、フレキシブルな場所です。

前面道路からコミュニティバスや搬入車両が直接アクセスできる車寄せを設けます。

道路沿いにコミュニティスペースを設けることで、気軽に立ち寄れる佇まいをつくります。

前面道路側に開けた軒下テラス空間。交流スペースの賑わいが道路側まで漏れ出します。

前面道路からコミュニティバスや搬入車両が直接アクセスできる車寄せを設けます。

面積表	
水辺体験棟	112.50㎡
交流棟	106.00㎡
半屋外棟	132.50㎡
倉庫棟	35.50㎡
合計	386.5㎡

平面図 S=1/500

多目的スペース 大階段 炊事場・倉庫 トイレ 交流スペース 駐車スペース ベンチ



芝生広場に面した回廊や諸室での様々な活動が連なります。

■周囲環境に呼応する屋根と水辺とつながる断面計画

(景観について)

- ・折れながら連続するひとつながりの屋根並みは、仰烏帽子山系の山並みに調和する佇まいをつくります。
- ・外構全体のレベル設定と建物配置により、川辺川の清流への眺めを獲得します。
- ・水と直接触れ合える水辺の広場、どこにいても水面を見ることができ、屋根下の空間、水辺の賑わいが溢れ出す広場など、川辺川との多様な関わり合いを楽しめる、水辺に新設する敷地ならではの魅力を最大限に発揮する断面計画とします。



交流スペースから芝生広場腰に川辺川を望む。



大階段から斜面広場越しに川辺川を望む。



大階段に座りながら川を眺めることも可能です。

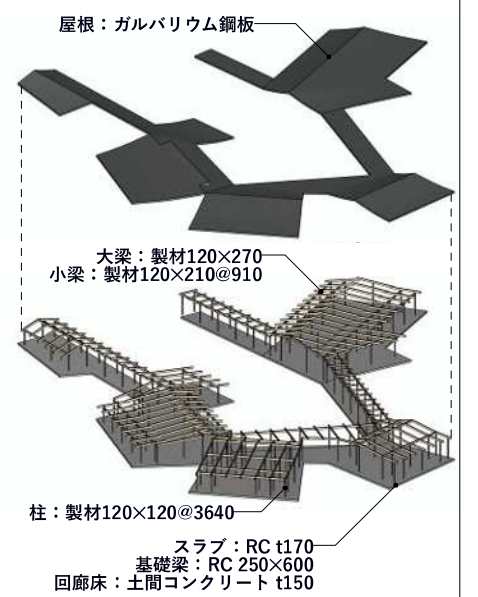
交流スペースから直接川を眺めることが可能です。

道路側に対して屋根を低く抑えることで景観に配慮します。

広域断面図 S=1/400

■経済性に配慮した長く大きな屋根架構 (県産材の活用・構造安全性の確保について) (木質化について) (施工について)

- ・県産の小~中断面木材を利用して、合理的な架構を作ります。
- ・全ての部材長を4m以内として、地元製材業者が扱い易い計画とします。
- ・交流スペースや多目的スペース等の大空間は、両袖にある廊下や縁側空間を利用した持ち送り構造とし、ゲルバー梁を活用することで7.2mの無柱空間を県産材にて実現します。
- ・ゲルバー梁による梁の段差をハイサイドライト兼換気用ガラリとして利用することで、構造だけでなく環境設備に置いても合理的な計画とします。
- ・軒裏や天井の木造架構を現し仕上げとして、軽やかで温かみを感じる屋根下空間をつくります。
- ・シンプルな構造形式を採用することにより、多目的スペースの屋内化や、設計時のプラン調整にもフレキシブルに対応することが可能です。



屋根：ガルバリウム鋼板
大梁：製材120×270
小梁：製材120×210@910
柱：製材120×120@3640
スラブ：RC t170
基礎梁：RC 250×600
回廊床：土間コンクリート t150

構造ダイアグラム

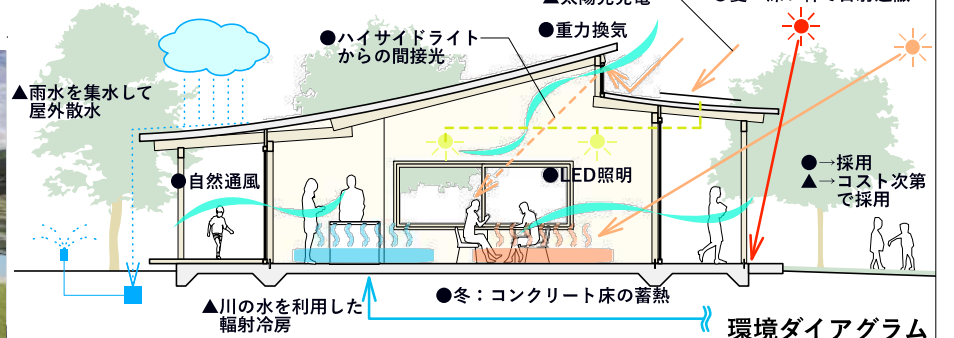


ゲルバー梁による無柱の多目的スペースは、多様な使い方や将来の増築にも柔軟に対応可能です。

■自然エネルギーを最大限活用した環境設備計画

(環境・省エネについて) (ライフサイクルコストの削減について)

- ・相良村の豊かな自然、風土を積極的に取り入れた環境計画とします。
- ・浸水ベルを避けた設備の配置計画とします。



環境ダイアグラム

■実現に向けた構造や工法の選定、イニシャルコストの縮減 (コストについて)

- ・現場発生土を敷地の盛土で活用し、排出土を最小限に抑えた外構計画とします。
- ・木造部材の全てを流通材が使用可能な寸法で計画することで、材料費や施工コストをおさえます。
- ・910mmモジュールを基本とした経済寸法による計画とします。
- ・諸室以外の屋根下空間は、基礎梁+土間コンクリートとして、駆体のコストに配慮した計画とします。
- ・コスト調整が必要な場合も、提案コンセプトを維持したまま、計画の調整(居室や屋根の面積調整など)が可能な計画とします。

概算工事費：185百万円